

平成16年4月1日

研究協力に関する協定の締結について (世界最深の海底油田開発に取り組むブラジルとの協定)

独立行政法人 海上技術安全研究所

独立行政法人海上技術安全研究所(東京都三鷹市)は、本年3月31日ブラジルのサン・パウロ大学との間で研究協力に関する協定を締結した。

1. 題 目

独立行政法人海上技術安全研究所とサン・パウロ大学財団との間の研究協力に関する協定締結

2. 背 景

サン・パウロ大学とは、2001年以来、意見交換を重ね、FPSO(浮体式石油生産・貯蔵・積出設備)に働く流体力、掘削管の挙動予測など研究テーマごとの個別の受託研究、共同研究を実施するなど協力してきた。今回の協定は、サン・パウロ大学の学術振興を目的とした財団であるサン・パウロ大学財団と海上技術安全研究所との間で協定を締結し、サン・パウロ大学と海上技術安全研究所との包括的な協力関係を確認するもの。

3. 実施内容

世界で最深の水深での海底油田開発を行っているブラジルとの間で研究協力協定を締結し、海底油田開発のための海洋構造物の強度、波浪・潮流中の挙動解析などに代表される船舶・海洋工学分野に関し、研究者の交流を通じた情報交換、共同研究の実施等包括的な内容の協力協定を締結する。

4. 期待される効果

この分野で世界のトップレベルにある同大学との交流の促進により、研究資源の有効利用、成果の相互活用等が図られ、新たな研究テーマの創造、研究スピードの増進、成果の増大と普及拡大等につながることを期待される。

本件に関するお問い合わせ先
独立行政法人 海上技術安全研究所
研究統括主幹(技術開発担当) 川井啓裕
(直通)0422-41-3582

ブラジル及びサン・パウロ大学について（概要）

1 ブラジルの概要

国名：ブラジル連邦共和国 Federative Republic of Brazil

面積：851.2万km²（日本の面積の22.5倍）

首都：ブラジリア

言語：ポルトガル語

2 ブラジルの海底油田開発

ブラジルでは国策として油田の開発が進められている。特に海底油田の埋蔵量は豊富で、1953年には「ペトロブラス石油公社」が設立され、海底油田の開発に精力的に取り組み、これまで沿岸域から沖合にむけて開発が進められてきており、最近ではブラジル沖の3000メートル以深の油田にまで開発対象が広がりつつある。このような世界一の深海掘削技術を保有するまでに至った石油産業をささえる研究開発は、ブラジル国内のサン・パウロ大学を中心として、各分野の協力のもとで、実施されている。

3 サン・パウロ

1554年にイエズス会によってキリスト教布教の拠点として開かれたブラジル南東部の標高760メートルの都市。現在、ブラジル第一の都市でブラジル経済の中心地。人口約10万人。

4 サン・パウロ大学

1934年創立のサン・パウロ州立のブラジルで最大の大学。総合大学として、法学部、医学部、人文哲学部、工学部、経済学部などの学部を持ち、キャンパスはサン・パウロ州内の6ヶ所にわたる。学部の学生数約4万人。工学部は、その前身が1893年に設立され、1934年に総合大学に編入されたものであり、15の学科のうち船舶海洋工学科は1957年に設立。

5 サン・パウロ大学財団

1992年に設立されたサン・パウロ大学の学術振興を目的とした財団で、国際協力関係の事業についても関与。

6 研究協力に関する協定の締結に至った背景について

今回の協定の締結に関しては、(1)ブラジルがこれまで長期にわたり海底油田の開発の実績があり、最近では、サン・パウロ大学とペトロブラス石油公社などが世界最深の水深での海底油田の掘削に取り組もうとしていること、及び(2)海上技術安全研究所が世界で最深の深海水槽を保有し(ギネス・ブック登録済み、別添パンフレット参照) 深海技術について高度の研究能力を持っていることが背景としてあげられる。このように、ブラジル側にとり海上技術安全研究所の設備能力が期待されている一方、海上技術安全研究所としてもブラジルの石油開発の実績等を十分に取り入れた研究活動を行うことが見込まれ、双方にとりベストの組み合わせとなる研究協力体制となっている。

サン・パウロ (ブラジル)



サン・パウロ